

銘柄分析レポート：四季報秋号の注目銘柄

1 はじめに

新政権への期待で株が買われ、日経平均は9月14日に年初来高値を付けました。

しかし株式市場を取り巻くファンダメンタルズは良好とは言えません。ここに来て、3つの懸念材料が噴出してきているからです。

- (1) 中国不動産大手の経営危機
- (2) 米国FRBの量的緩和縮小
- (3) 半導体不足による自動車減産

今後の展開次第では、過熱していた株式市場や不動産市場が調整を余儀なくされ、世界的な不況に陥る恐れがあります。個別銘柄を選ぶ際は、金融や不動産、自動車関連は避けたほうが無難かもしれません。

今回の銘柄分析レポートでは、このような状況を踏まえつつ、会社四季報秋号から注目銘柄をピックアップしました。

★日経平均 株価チャート（日足）

